

4月報(2026年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町7-26

☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615

e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

【四旬節黙想会に参加して】

第8ブロック 大谷 文女

3月22日に笠岡教会のパヴァン神父様をお迎えして、ミサ後「イエス様の最期の7つの言葉」をテーマに御教授頂きました。

①「わたしの神、わたしの神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」

② マルコ 15：33-35、マタイ 27：4

③「父よ、彼らをお赦してください。

彼らは自分が何をしているのかわからないのです。」 ルカ 23：33-37

④「あなたによく言うておく。今日あなたは、わたしとともに樂園にいる。」ルカ 23：39-43

⑤「父よ、わたしの霊を御手に委ねます。」 ルカ 23：44-59

⑥「婦人よ、ご覧なさい。あなたの子です。」「見なさい。あなたの母です。」ヨハネ 19：26-27

⑦「渇く。」 ヨハネ 19：28-29

⑧「成し遂げられた。」ヨハネ 19：30

*詩編 22 もご参照下さい。



パヴァン神父様の柔らかなお言葉が、ほのぼのと心に、ジワジワと脳に沁み入りました。

聖書を通して頂く御言葉も、自分で読むのと、パヴァン神父様からのお話とでは違いがありました。

ミサ中の説教での「黙想会の導入」もわかりやすく、パヴァン神父様、ありがとうございました。黙想会

後の「昼食会」は、「主の祈り」に始まり、和やかに美味しく頂きました。

インドの方は血液型B型が多いと聞いたことがありましたが、パヴァン神父様はO型でした(笑)。

【年の黙想会】～パヴァン神父様の講話～

夫津木 敬子

イエスが十字架上で言われた7つの言葉を聞きながら、十字架の道行きの流れを心に留め、苦しみの中に耐え忍ばれるイエスのお姿、イエス様は神の子でありながら、人間の姿となって世を

救うために神に使わされました。

イエス様は正しい人を招くためではなく罪人を招いて悔い改めさせるためでした。そのために多くの人にあざけられ笑い者にされながらも彼らを赦し世を救われました。

私達も時折傲慢な気持ちになり、人を見下すことがあります。どんなに嫌な人でも相手を許してこそ自分が赦されることを心に留めたいと思います。

イエスさまは死を目前にして自分の母のことを案じ、弟子たちに委ねられました。世を去る前に人間と同じ気持ちになられたのかなあと思いました。母マリアはその時から世界の母となり、私達に力を与えてくださいます。母マリアは十字架上のイエスと共に苦しみに耐え、死と復活を通して神がどれ程までに世を愛されたか示してくださいました。私達も神に信頼し罪の赦しを願い心を開いて神から与えられた使命を果たしていけますようにと祈り願いながら…

私も頭も耳も弱くなり神父様のお話もよく聞き取れずプリントも手元になく帰る時に頂きました。まだ目も通していないのに教会から原稿の依頼の電話があり、大変悩みましたが四旬節を大切に過ごすために自分を見つめることに…

神は私達に力を与え救いの恵みを注いでくださいます。神に感謝。

【ブラザー阿部のみ言葉のおすそわけ】～コヘレトの言葉 3 章～

『わたしは、神が人の子らにお与えになった務めを見極めた。

神は、すべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。

それでもなお、神のなさる業を、始めから終わりまで見極めることは、許されていない。』

今日も、このコヘレトの言葉の最後の部分に心が留まりました。『何事にも時があり』で始まる今日の言葉は、神のなさることには、すべて時があることを教えてくれます。そして、私たちの思いを超えて、主のみむね、思いは限りなく広いのです。

すべて私達に知らされている訳ではないこの人生を、私達は生きているのです。

神は、この世界のすべてを、わたしたちのために造り、そして、わたしたちが会うすべての出来事の中に、神さまのみむねを、永遠に感じる事が出来るようにしてくださいます。

しかし、全部が示されているわけではありません。神さまからの宝は、私達には、隠されているのです。その神秘があるからこそ、わたしたちの信仰は強められるのです。

『信仰する』ということは、見えないものを信じるということです。ですから尊いのです。

私達は、いつも主に望みをおいています。この望みがあるからこそ、世の苦しみに耐えることが出来、希望を持って生きることが出来るのです。

本当に、信仰を頂いていることに感謝です。この信仰の喜びを、会う人々に、喜びを持って伝えることができますように。



聖週間



主のご復活
おめでとうございます



カトリック福山教会2026.4.4
復活徹夜祭
Fukuyama Catholic Church

【召命学校・チューブロに参加して】

～召命学校～

ホスチアについての勉強をしたり、みんなと協力してホスチアづくりをして、とても楽しかったです

～チューブロ～

平和について愛知県の司教さんの講話を聞いて、同じグループの人と分かち合いをしたり、レクをしたりして、初めてで少し不安だったけど、とても楽しめました

～召命学校～

最後の召命学校まさかのサプライズがありました。召命学校卒業で、日めくりカレンダーをもらいました。嬉しかったです。いつかリーダーとして参加します。



～チューブロ～

今まで4回参加し、今年で最後になりました。今年は今までで1番思い出に残りました。

この4年間で多くの友達ができ、一生の仲間ができました。

いつも子ども達の為にお祈りくださり、ありがとうございます。

山口 真紀(母)

召命学校は、小学5年生から高校3年生までが対象で中国地方の各教会から集い、年に数回開催されます。

今回(3/20～3/21)はミカエル神父様と大内恭子さんが同行お世話をして下さい、広島幟町教会にて1泊2日でありました。毎回充実した時間を過ごさせていただき、次の機会も楽しみにしています。

チューブロは、中学3年生から高校3年生までが対象で全国から教会及びカトリック関係の学校から集まり、2泊3日を共に過ごします。

今年(3/28～3/30)は暁の星で開催され、約100名の学生が参加しました。多くの方と学ばせて頂き貴重な体験をすることができました。又、この研修の為に支えてくださった福山教会の皆様にも感謝しています。

コロナがあったこともあり、近年参加するのは山口家のみです。

知らない所に参加するのは不安ですが、それ以上のお恵みがあります。

ぜひ、いっしょに参加できることを願っています。

6月に召命学校があるようです。

山口 寧々



山口 智也



ご復活おめでとうございます。



年度初めでお忙しい頃と思います。

私も学校の年度初めの忙しさを長年経験してきたので、今はその忙しさも懐かしいときとなりました。

毎年この時期は、主イエス・キリストのご受難とご復活の時と重なって、忙しさの中にも、大きな力をいただく時だったように思います。

今もそうですが、今は追いかけられるような忙しさはないのでゆったりと、味わいながらすごさせていただいています。

今年は3.11から15年が経ちました。あの時高校生だった人は、もう30代の働き盛りの年になって、それぞれの地で頑張っておられることでしょう。

それでも、地震があるたびに、あの時のことが思い出されるようです。

先日もこんな話を聞きました。

あの時には、海のそばで津波の惨状を目の当たりにした人が、今は浜通りでも高台の家に避難していて、昨年 of 年末の地震で津波の情報があつたとき、息子さんが「お母さん、ここは大丈夫だよ、寝よう！高台だから。でもあそこに居たらこうしちゃおれないよ。」と。

近い将来か、遠い将来か、小高の元の自宅に帰ろうと思っておられたそのお母さんは、「そうか、あそこに帰ることは、この息子たちを、危ない目に合わせることになるのか?? 考えものだな!!」と、真剣に将来どこに居を構えるかを「考え直さなくっちゃ」とつぶやいておられました。まだまだ大震災の後遺症は深刻な悩みとして疼いているのです。

その息子さんは震災の時、高校2年生で、当日剣道部のクラブがあるはずでしたが、登校途中に自転車がパンクして、先生がクラブを免除してくれて、「早く帰れ」と言われたので、自転車屋さんへ寄って修理して、自宅に帰ることが出来ました。自宅に着いた、その直後に大地震と津波が来たとのこと。そして自宅に一人でおられた車いすのおじいちゃんを守ってあげることが出来、「災い転じて福となる」を体験したとのこと。

本当に生死を分ける出来事は、思いがけないことから起こります。それは神様しかご存じないことで、私たちは、その計らいに身を委ねるしかないのではないのでしょうか? もちろん自分にできる最善の努力は前提として。

それこそ、「父よ、御心なら、この杯を私から取りのけてください。しかし、私の願いではなく、御心のままに行ってください。」(ルカ 22:42)と祈られたイエスに倣って、日々の苦勞や、悩みを神様の御心にゆだねて生きる時、復活の喜びに入れていただけるのではないかと思ひ

ます。毎日のホンのささやかな事柄の積み重ねが一生の宝となるのでしょうか。私たちにはそんなに大きなことは降りかかってこないのですから。いえ、大きなことが振りかかった時こそこの言葉で、イエスともっと深くつながることが出来るのだと思います

【帰天のお知らせ】

クララ 西田啓子様 (91歳)

謹んでお知らせします。どうぞ心を合わせてお祈りください。

【4月・5月の行事予定】

4 月		5 月	
2(木)	聖木曜日(主の晩餐)	3(日)	乙女峠
3(金)	聖金曜日(主の受難)大斎・小斎	9(土)	備後協働体幹事会
4(土)	聖土曜日(復活徹夜祭)	10(日)	広島地区宣教司牧評議会
5(日)	復活の主日 日曜学校新学期	15(金)	広島地区召命祈りの集い
12(日)	初聖体	17(日)	主の昇天 信徒総会
26(日)	14時～墓地ミサ		
		24(日)	聖霊降臨の主日
		31(日)	三位一体の主日

【編集後記】

復活の喜びで生きる復活節が続いている

桜の開花宣言と共に瞬く間に白やピンク満開だ 野菜もいっきに黄色の菜の花 大自然の蘇りと共に 山々の木々 川の草木が黄緑色に芽吹いた 私の畑もいっきに春だ!

何気ない日々の中で こんな言行に私の心が響いた

・夫を亡くしたある夫人に聖体奉仕をした時「一人で恐くない？」と聞いたら『生きて留守をした時は恐かったけど 今はいつも一緒だから恐くない いつも傍にいて守ってくれている いつも彼と話している』…傍に二人笑顔の写真。

・妻を亡くした高(幸) 齢者の花見に同行した。何かをする度に独り言「美味しいなあ○子」「○子見てるか?この花・この景色」「この坂道登るぞ!○子背中を押してくれ!」等々同行二人 エマオの旅人の話を思い出した (N.T.)